

横浜市会における 議会基本条例の制定を目指して

★横浜の緑を守るために

2000年の「地方分権一活法」成立以降、中央から地方への分権の流れが進んでいます。昨年5月の地方分権推進委員会の第一次勧告は「生活者の視点に立つ地方府の確立」、去る12月の第二次勧告では「地方府の確立に向けた地方の役割と自主性の拡大」と題され、総務省や内閣において「地方府」という言葉が定着し、国の権限や業務や財源を県や市町村へと移譲して、個性あふれる元気な地域をどんどん創出させようという議論が活発になっています。

★地方議会は必要なのか

そんな時代が来た時には地方議会も重い責任を担うこととなります。「開かれた議会・討論する議会・衆知を集める議会・行動する議会」となることが求められるのです。そのため、これからの横浜市会があるべき姿を定める議会の憲法のような存在が「議会基本条例」です。

★議会改革の芽が続々誕生

私は、全国から地方議員が集まる会議や懇親会の場で、若くて志の高い地方議員の仲間たちから様々な議会改革の実例を聞かされて、愕然たる思いでした。そこで今回の件をチャンスと捉え、横浜市会でも「議会基本条例」を一緒に勉強しようとする議員の仲間を声をかけると同じ思いの賛同者が次々と現れ、超党派の勉強会が立ち上がることになりました。

また、この頃から付き合っていた「構想日本」というシンクタンクの協力を得て、行政の事業を「事業仕分け」という手法で洗い直して、無駄な事業を廃止、縮小、民営化して行政をスリム化しようというプロジェクトチームも市の自民党の中に生まれました。

早稲田大学マニフェスト研究所が吉原横浜市会議長らとともに昨秋に立

ち上げた神奈川県自治体フアイナンス研究会という組織も自治体の財政を勉強して歳入・歳出のバランスシートがウラまで読める議員になろうという議員強化の動きです。このように昨年末から議会改革の新しい動きが雨後のタケノコのようにどんどん生まれてきました。

これまでいいかげんな政務調査費の使途や遊びのような海外視察の問題などこれまで地方議会は批判を浴びることがばかりでした。これからは志の高い仲間とともに、しっかりと勉強して、行政の無駄を排除し、必要な条例なども整備して、新しい時代の地方議会を創造していかなくてはなりません。全国にも横浜市会にも改革の気概にあふれる仲間がどんどん増えていきます。互いに切磋琢磨しながら横浜市民のみならずにとって本当に必要とされる議会を創ってまいります。



いよいよ見えてきた 金沢八景駅周辺の将来の姿

金沢八景駅東口地区の区画整理事業が平成21年度には将来に向けての進展が見られるようです。20年度は減価買取横浜市当局による土地の買収が70%、代替地の契約済み・交渉中が合わせて90%進捗したとのことで、21年度は換地設計・東口地区内に移転する人たちの移転先を図面化するに入ります。

いものです。駅の西側にも江戸時代以来の歴史的文化財や御伊勢山・権現山などの緑が残されており、開発が遅くなってしまった分、地域の自然や文化的な特徴を生かした金沢八景らしい開発が出来るよう、地域のみなさんとともに進めてまいります。

金沢文庫駅周辺も生まれ変わります

その後、仮設店舗への移動や様々な権利関係の補償などが行われ、単独でビルを建てたり共同でビルを建設するなどの計画があればまず、道路整備と駅前整備を行い、シーサイドラインが駅前まで乗り入れてきて、京浜急行の金沢八景駅も駅前広場とシ

谷津川沿いでは春になると京浜急行の構内に植えられた満開の大きな桜が地域のみなさんに親しまれていました。谷津の浅間神社を護るコノハナサクラやヒメは、サクラの語源になったとも言われています。新しくプロムナードが出来ても、昔から親しんだ春の桜が何らかの形で親しめるようにして、地域の歴史や文化を大切にしたいものです。

ーサイドラインの連結工事や新しい改札口などが出来て、西側(横浜市大や金沢高校)への降り口を作って完成です。予定では区画整理事業の終了は平成28年度末となっていますが、ぐちゃぐちゃに絡んだ糸を一つ一つ丁寧にほぐしてきれいに並べ替えて整える大変手間と根気が必要なお仕事です。

金沢八景も金沢文庫も区画整理事業や京浜急行の建物の再配置をきっかけに大きなチャンスを迎えています。効率や利便性だけを求めた味気ない駅前風景にならないように、周辺の地域の歴史や文化を活かした個性溢れる駅前空間を、地域の人たちとともに創っていききたいと思えます。



京浜急行とシーサイドラインは高架の高さの東西自由通路で連絡されます。

将来的には西口の線路と谷津川の間スペースに5階建の業務ビルが建つこととなります。合わせて上りホームの拡張工事も行われます。これにより多くの空地が出来ることになり、東口の駅前やすずらん通りなどの金沢文庫駅周辺の再開発をあらためて考え、きっかけとなればと思えます。